

事業名：納税啓発事業

納税課 収納管理係

政策	07 計画実現に向けて								
施策	01 効率的な行財政運営の推進								
基本事業	01 行政改革の推進と健全な財政の確保								
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内の小6・中3生	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>税務署と共催で将来の納税義務者となる小・中学生に税への関心、納税思想の啓発、普及を目指し、市内の小学六年生には書道、中学三年生には標語を募集。全応募者には参加賞を渡すと共に、優秀作品を表彰し市役所ロビー等で作品展を行う。中学生の標語の優秀作品については、広報・税務関係書類等に掲載するなどして活用している。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>将来の納税者となる市内の小・中学生に、税に関する関心と正しい知識を得る動機付けをし、納税思想の啓発、普及により、将来の市税の収納率の向上を目指す。</p>	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市内の小6・中3生数	人	2,375	2,369	2,177	2,163
対象指標2						
活動指標1	出品票・応募用紙配布数	枚	2,375	2,369	2,177	2,163
活動指標2						
成果指標1	応募作品数	点	1,480	1,527	1,184	1,730
成果指標2						
事業費(A)		千円	146	309	193	238
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	949	1,111	974	1,020

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	小中学生へ税への関心を高め、納税思想の啓発、普及を図るため、税に関する書道・標語を募集し、優秀作品は表彰し、市役所ロビー、公民館等で作品展を行う	報償費128千円 需用費65千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
市税の収入は市財源の根幹であり、将来を見据えての事業展開は、市として大切なことである。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
将来の納税義務者となる小・中学生を対象としているため、市税等の収納率に直ちに反映するものではないが、少なからず家庭において両親等家族を巻き込んで、税についての関心、納税思想の啓発の話題づくりにはなっていると考えている。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
当事業は将来納税者となる小中学生を対象としているため、現状において成果があがっている、いないとの判断は難しいが、前年に比べ市税の収納率は上昇しており、良い影響をもたらしていると思われる。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
作品募集の対象学年を拡大することで応募数も増大する可能性は高いが、大幅な応募数増加に対応しきれない面もあり、対象学年の拡大は難しい。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
各小・中学校で、作品の一時選考を必ずお願いすることで優秀作品の選考時間を短縮することは可能であるが、学校内での一次選考が児童・生徒の応募の意欲を損なわせる面もあり、前提条件とすることは出来ない。	